

◎基本情報

事務事業名	ユネスコ「世界の記憶」登録推進事業		担当部署	市民環境部 文化交流推進課 ドイツ館		
総合計画体系			根拠法令 計画など	ユネスコ世界の記憶プログラム		
基本政策(大項目)	1	うきうき 活力と魅力あふれる まちづくり	事業期間	開始	平成	28 年度
政策(中項目)	2	伝えたい 魅力あふれるまち なんと			終期	未定
(小項目)		シティプロモーション				
施策	2	シティプロモーションの推進				
基本事業	1	「鳴門ブランド」の戦略的な推進				

◎事業概要(PLAN)

事業対象	誰(何)を対象にしているか	<input checked="" type="checkbox"/> 個人 <input checked="" type="checkbox"/> 世帯 <input checked="" type="checkbox"/> 団体 <input checked="" type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/> 内部管理 ドイツ館が所蔵する「板東俘虜収容所」関係資料のうち、当時の状況を文字や映像として記録した「記録資料」。														
事業目標	対象をどのような状態にしたい(目指す)のか	「板東俘虜収容所記録資料」をユネスコ「世界の記憶」に登録する。														
事業計画	30年度に何を計画していたか	①ユネスコ「世界の記憶」へ申請するための資料抽出と申請書作成およびその他資料の台帳整理。 ②県教育委員会と共同でユネスコ「世界の記憶」調査検討委員会を開催。 ③「板東俘虜収容所」関係資料保存管理計画を策定。 ④申請対象資料を保存していくための公開の手段としてレプリカの作成とデジタル化作業、および図録の刊行と販売。 ⑤東京・京都における企画展 ⑥館内における企画展示とイベントの実施。														
成果目標	事業目標の達成度合	<table border="1"> <thead> <tr> <th>指標名</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> <th>元年度</th> <th>2年度</th> <th>3年度</th> <th>単位</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ドイツ館周辺への来訪者数</td> <td>75,250</td> <td>85,250</td> <td>87,000</td> <td>90,000</td> <td>90,000</td> <td>人</td> </tr> </tbody> </table>	指標名	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	単位	ドイツ館周辺への来訪者数	75,250	85,250	87,000	90,000	90,000	人
指標名	29年度	30年度	元年度	2年度	3年度	単位										
ドイツ館周辺への来訪者数	75,250	85,250	87,000	90,000	90,000	人										

◎実施結果(DO)

事業実施内容	30年度は目標を達成するため、手段としてどのような活動を行っているのか	①ユネスコ「世界の記憶」へ申請するための資料抽出と申請書作成およびその他資料の台帳整理。 ②県教育委員会と共同でユネスコ「世界の記憶」調査検討委員会を開催。 ③「板東俘虜収容所」関係資料保存管理計画を策定。 ④申請対象資料を保存していくための公開の手段としてレプリカの作成とデジタル化作業、および図録の刊行と販売。 ⑤東京・京都における企画展 ⑥館内における企画展示とイベントの実施。					
事業実施手法	<input checked="" type="checkbox"/> 市実施 <input type="checkbox"/> 一部委託 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> その他						
指標名		29年度実績	30年度実績	元年度目標	2年度目標	3年度目標	単位
活動指標 実施した事業の活動量を示す指標	1 調査検討委員会及び資料保存管理調査検討委員会の開催回数	4	3	2	2	2	回
	2 周知啓発回数	9	11	10	10	10	
成果指標 対象にどのような効果があったか示す指標	ドイツ館周辺への来訪者数	82,829	81,417	—	—	—	人
	目標達成率(実績/目標)		95.5	—	—	—	%
今年度の進捗状況	ほぼ計画どおり		事業全体の進捗状況		計画どおり		

(千円)

財源内訳	平成30年度	年度	区分	国	県	地方債	その他特定財源	一般財源	事業費計
		当初予算額	2,250	0	0	2,500	6,615	11,365	
		補正予算額	0	0	0	0	0	0	
		繰越予算額	0	0	0	0	0	0	
		全体予算額	2,250	0	0	2,500	6,615	11,365	
		決算額	2,250	0	0	2,500	5,569	10,319	
		繰越額	0	0	0	0	0	0	
	人件費	正規職員(7,321千円/人)	臨時職員(2,125千円/人)		総人件費		総事業費		
		1.5	1.0		13,107		23,426		

事業費推移	年度	29年度決算	30年度決算	元年度	2年度	3年度
	事業費	9,336	10,319	4,658	17,000	15,000
	うち一般財源	5,498	5,569	4,658	17,000	15,000
	人件費	13,343	13,107	13,107	13,107	13,107
	総事業費	22,679	23,426	17,765	30,107	28,107

◎項目別評価(CHECK)

評価項目		評価値	所見欄
①活動に対する評価	有効性	A:有効性があった	東京・京都における資料展示会開催により、新たな周知広報と来館者誘致につなげることができた。
	効率性	B:概ね効率的だった	前年度までに実施した資料整理の成果を事業に反映することが可能となり、今までより効率的な作業が可能となった。
②成果に対する評価	指標名	ドイツ館周辺への来訪者数	
	目標	85,250	人
	実績	81,417	人
	評価	B:概ね目標を達成できた	
③総合的な評価		<b>B</b>	館内での展示を主とした「点」的な周知から、県外にサテライト的な展示会場を設け、「線」でつないだことにより、当該資料の存在を広く周知啓発することができた。

◎今後の方向性(ACTION)

課題	①対象となる「記録資料」の安全な保存活用に向けて検討を行う必要がある。 ②①を考慮しながら資料活用に重点を置いた事業企画の推進。 ③ユネスコ「世界の記憶」への登録推進。				
今後の方向性	1.廃止	2.要改善	3.現状維持	4.拡充	<b>3</b>
↓今後の方向性を踏まえた上で、以下の欄に記入してください。					
実施内容	R1年度	①企画展・講演会を通じた事業の周知広報活動、②申請対象外資料の台帳整理、③ドイツ橋・ドイツ兵の慰霊碑100周年事業の実施、④ユネスコ「世界の記憶」への登録申請準備			
	R2年度	①企画展・講演会を通じた事業の周知広報活動、②申請対象外資料の台帳整理、③ユネスコ「世界の記憶」への登録申請、④「保存管理計画」に基づく環境等整備			